

2025(令和7)年度  
聖カタリナ大学  
聖カタリナ大学短期大学部

一般選抜B日程 [現代人間学科・健康スポーツ学科]  
一般選抜B日程 [保育学科]

学力検査 60分  
【国語(現代の国語、言語文化)】  
※古文・漢文を除く

一 次の問い合わせに答えなさい。

問一 次の傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- ア 大臣がジニンに追い込まれる。
- イ 国のメイウンを握る。
- ウ リレキシヨを提出する。
- エ 毎年のコウレイ行事。
- オ 世の中のフウチヨウに抗う。あらが

問二 次の傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- ア 皆目見当がつかない。
- イ 王位を継承する。
- ウ 手洗いを励行する。
- エ 大会を棄権する。
- オ 体力を消耗する。

問三 空欄に漢字一字を書き、四字熟語、もしくは慣用句を完成させなさい。

- ア  石を投じる イ 馬耳  風 ウ  差万別 エ  尾一貫 オ 烏  の衆

問四 次の意味を表す言葉として、最も適当なものを、後の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- 1 こじつけやごまかしの議論  
ア 隠蔽 イ 捏造 ウ 詭弁 エ 雄弁 オ 叱責
- 2 あらゆるものを無意味であるとみなす考え方  
ア ヒューマニズム イ ニヒリズム ウ フェミニズム エ エゴイズム オ リベラリズム
- 3 一部の崩れから全体が崩壊すること  
ア 盛大 イ 爆発 ウ 跳躍 エ 飛躍 オ 瓦解
- 4 のさばり、はびこること  
ア 跳梁 イ 喝采 ウ 侵入 エ 腐敗 オ 疾風
- 5 それとなく伝えること  
ア 寡默 イ 暗躍 ウ 伝播 エ 示唆 オ 議論

二 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。字数制限のある問題については、句読点なども一字に数える。なお、設問の都合上、表記を改めたところがある。

### **【著作権の関係で不掲載】**

**【著作権の関係で不掲載】**

## 【著作権の関係で不掲載】

（戸谷洋志『哲学のはじまり』より）

問一 傍線部（1）「存在論は、大きく分ければ、本質存在への問いと、事実存在への問いに区別されます」とあるが、「本質存在」と「事実存在」の違いを四〇字以内で説明しなさい（句読点も字数に数える）。

問一  A に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 反対に、ある事物が現実に存在しないからと言つて、その事物の本質を知りえないと考える必要もないのです。
- イ 反対に、ある事物の本質を知りえないからと言つて、その事物が現実に存在すると考える必要もないのです。
- ウ 反対に、ある事物の本質を知りえるからと言つて、その事物が現実に存在すると考える必要もないのです。
- エ 反対に、ある事物が現実に存在しないからと言つて、その事物の本質を知りえないと考える必要もないのです。
- オ 反対に、ある事物が現実に存在するからと言つて、その事物の本質を知りえないと考える必要もないのです。

問三  B に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 当て馬
- イ 風物詩 ふうぶつし
- ウ 花形
- エ 主役
- オ 立役者

問四 次の一文は、どこに入れるのが最も適当か。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

しかし、ある事物に備わる性質が、すべて本質であるわけではありません。

ア【I】 イ【II】 ウ【III】 エ【IV】 オ【V】

問五 傍線部（2）「偶有性」とあるが、その具体例として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア パンダの模様が白黒であること。
- イ ライオンが肉食であること。
- ウ 猫の尻尾が長いこと。
- エ 金魚が泳げること。
- オ クモの足が8本であること。

問六 甲・乙に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 甲 たしかに 乙 しかし
- イ 甲 あるいは 乙 けれども
- ウ 甲 たしかに 乙 したがつて
- エ 甲 そこで 乙 しかし
- オ 甲 むろん 乙 それゆえ

問七

□ C

に入るのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 太陽

イ 麦わら帽子

ウ 精密機械

エ 風車

オ 地球

問八

□ D

入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 先驗的

イ 具体的

ウ 懐疑的

エ 本質的

オ 一般的

問九

□ E

入れるのに最も適当な語句を、本文中から漢字三字で抜き出しなさい。

問十 本文の内容に合致するものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「存在」には本質存在と事実存在があるが、前者から後者を導くことはできないため、本質存在と事実存在を区別することは重要である。

イ 人間は「ペガサス」について考えることはできるが、実際に事実としては存在しないため、突き詰めれば存在しているとは言えない。

ウ そのものにどんな本質があるかに関係なく、とにかく現前に存在するという事実存在に対する疑問から存在論の考察の歴史は始まった。

エ 本質という概念を設定することで人間は世界について理解することができるようになるため、本質が本当にあるかどうかは問題ではない。

オ 人間は存在するものをありのままの姿でそのまま認識できいため、本質の理解と現実世界の存在は必ずしも一致するわけではない。

三 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。字数制限のある問題については、句読点なども一字に数える。なお、設問の都合上、表記を改めたところがある。

### 【著作権の関係で不掲載】

**【著作権の関係で不掲載】**

## 【著作権の関係で不掲載】

(蟹江憲史『SDGs（持続可能な開発目標）』より)

(注1) SDGs … 持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) の略称。全部で17の目標がある。

(注2) リーマンショック … アメリカのサブプライム住宅ローン危機により投資銀行のリーマン・ブラザーズ・ホールディングスが経営破綻したことを見つかりに発生した世界金融危機のこと。

問一 傍線部（1）「なぜ企業がSDGsなのか」とあるが、なぜか。その理由を七〇字以内で説明しなさい（句読点も字数に数える）。

問二 次の一文は、どうに入れるのが最も適当か。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

つまり、社会奉仕的活動として、利益を世の中に還元するものといえられてきたくらいがある。

ア【I】 イ【II】 ウ【III】 エ【IV】 オ【V】

問三 □Aに入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 市民権を得た イ 企業人の常識だ ウ 最先端の流行 エ 世界の常識だ オ 喫緊の課題

問四 傍線部（2）「企業の社会的責任」とあるが、これに最も近い意味のものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア コモンセンス イ ヘゲモニー ウ イニシアチブ エ ジャーナリズム オ コンプライアンス

問五 □甲・□乙 に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- |     |      |   |        |
|-----|------|---|--------|
| ア 甲 | すなわち | 乙 | しかし    |
| イ 甲 | しかし  | 乙 | したがって  |
| ウ 甲 | あるいは | 乙 | しかし    |
| エ 甲 | すなわち | 乙 | それによつて |
| オ 甲 | ただし  | 乙 | だが     |

問六 □B に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア メゼナ イ ポリス ウ アウラ エ トポス オ ドグマ

問七

X

には、次の a～d が入る。その正しい順序として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

a こうして、課題の解決にも、企業の活動が不可欠になつてきた。

b あるいは、気候変動の影響と考えられる水害がまちを襲つて、工場が浸水すれば、工場は稼働できなくなる。

c 火力発電所からのエネルギーを使ってものづくりを進めれば、二酸化炭素を排出し、結果として気候変動を進めることになつてしまふ。

d しかし、気候変動や生物多様性の破壊、森林破壊、あるいは移民による労働市場の変化や災害やテロによる安心・安全な生活への脅威が増えしていくなかで、そうした社会的課題の原因あるいは影響と、企業活動との境界線が次第になくなつてきた。

ア	d	↓	b	↓	c	↓	a
イ	a	↓	d	↓	c	↓	b
ウ	w	↓	c	↓	a	↓	b
エ	a	↓	c	↓	b	↓	d
オ	d	↓	c	↓	b	↓	a

問八

C

に入るのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 欺瞞ぎまん

イ 痛み

ウ そねみ

エ ひずみ

オ 割れ目

問九

D

に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 傲慢さ

イ 脆弱さぜいじやく

ウ 煩雜さきょうざつ

エ 夾雜さわいざつ

オ 猥雜さわいざつ

問十 本文の内容に合致するものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア リーマンショック以降、企業の価値は、財務的因素ではなく、金銭的な価値では測ることのできない非財務的な要素で決まるようになった。  
イ 企業の社会的な責任という概念が登場した結果、企業は、株主や経営者の所有物ではなく、社会的な存在という意味合いが強くなつた。  
ウ CSVとは、企業の事業活動を通じた社会課題の解決を目指すものであり、企業価値を高めることで社会的価値を高める狙いがある。  
エ SDGsは、従来の「三方よし」に「未来よし」の視点を加え、今とは異なる条件のなかで真の意味での課題解決を目指すものである。  
オ 近年多くの企業がSDGsへの注目を高めているのは、将来のビジネスチャンスを見極めることができるとの見極めが可能になるからというところに尽きる。

2025(令和7)年度  
聖カタリナ大学  
聖カタリナ大学短期大学部

一般選抜B日程 [現代人間学科・健康スポーツ学科]  
一般選抜B日程 [保育学科]

学力検査 60分  
【国語(現代の国語、言語文化)】  
※古文・漢文を除く

※出題意図についての質問・照会には回答しません。

学力検査では、専門分野を学ぶための基礎学力をはかるために問題の意図を理解し、自分の考えを論理的にまとめるための「読解力・知識・思考力・判断力」を問う問題を出題しています。

2025(令和7)年度  
聖カタリナ大学  
聖カタリナ大学短期大学部

一般選抜B日程 [現代人間学科・健康スポーツ学科]  
一般選抜B日程 [保育学科]

模範解答

問七 <input type="text" value="オ"/>	問二 <input type="text" value="ウ"/>	問一 <table border="1"><tr><td>こ</td><td>、</td><td>経</td><td>S</td></tr><tr><td>と</td><td>社</td><td>済</td><td>D</td></tr><tr><td>に</td><td>会</td><td>の</td><td>G</td></tr><tr><td>つ</td><td>課</td><td>持</td><td>s</td></tr><tr><td>な</td><td>題</td><td>続</td><td>g</td></tr><tr><td>が</td><td>の</td><td>可</td><td>環</td></tr><tr><td>る</td><td>解</td><td>能</td><td>境</td></tr><tr><td>か</td><td>決</td><td>性</td><td>や</td></tr><tr><td>ら</td><td>が</td><td>が</td><td>社</td></tr><tr><td>.</td><td>企</td><td>重</td><td>会</td></tr><tr><td></td><td>業</td><td>要</td><td>の</td></tr><tr><td></td><td>の</td><td>だ</td><td>持</td></tr><tr><td></td><td>価</td><td>と</td><td>続</td></tr><tr><td></td><td>値</td><td>説</td><td>可</td></tr><tr><td></td><td>自</td><td>く</td><td>能</td></tr><tr><td></td><td>体</td><td>だ</td><td>性</td></tr><tr><td></td><td>を</td><td>け</td><td>と</td></tr><tr><td></td><td>高</td><td>で</td><td>同</td></tr><tr><td></td><td>め</td><td>な</td><td>等</td></tr><tr><td></td><td>る</td><td>く</td><td>に</td></tr></table>	こ	、	経	S	と	社	済	D	に	会	の	G	つ	課	持	s	な	題	続	g	が	の	可	環	る	解	能	境	か	決	性	や	ら	が	が	社	.	企	重	会		業	要	の		の	だ	持		価	と	続		値	説	可		自	く	能		体	だ	性		を	け	と		高	で	同		め	な	等		る	く	に	問七 <input type="text" value="ウ"/>	問二 <input type="text" value="工"/>	問一 <table border="1"><tr><td>も</td><td>前</td><td>者</td></tr><tr><td>の</td><td>は</td><td>は</td></tr><tr><td>が</td><td>存</td><td>あ</td></tr><tr><td>が</td><td>在</td><td>る</td></tr><tr><td>が</td><td>す</td><td>事</td></tr><tr><td>る</td><td>る</td><td>物</td></tr><tr><td>か</td><td>と</td><td>の</td></tr><tr><td>か</td><td>い</td><td>性</td></tr><tr><td>ら</td><td>が</td><td>質</td></tr><tr><td>.</td><td>企</td><td>を</td></tr><tr><td></td><td>業</td><td>指</td></tr><tr><td></td><td>の</td><td>す</td></tr><tr><td></td><td>だ</td><td>す</td></tr><tr><td></td><td>持</td><td>が</td></tr><tr><td></td><td>続</td><td>、</td></tr><tr><td></td><td>可</td><td>。</td></tr><tr><td></td><td>能</td><td>後</td></tr><tr><td></td><td>性</td><td>者</td></tr><tr><td></td><td>質</td><td>は</td></tr><tr><td></td><td>を</td><td>ある</td></tr></table>	も	前	者	の	は	は	が	存	あ	が	在	る	が	す	事	る	る	物	か	と	の	か	い	性	ら	が	質	.	企	を		業	指		の	す		だ	す		持	が		続	、		可	。		能	後		性	者		質	は		を	ある	問四 <table border="1"><tr><td>1 ウ</td><td>ア 一</td></tr><tr><td>2 イ イ 東 ウ</td><td>イ イ ウ</td></tr><tr><td>3 オ 千</td><td>イ エ 千</td></tr><tr><td>4 ア エ</td><td>ア エ 首</td></tr><tr><td>5 オ 合</td><td>オ 合</td></tr></table>	1 ウ	ア 一	2 イ イ 東 ウ	イ イ ウ	3 オ 千	イ エ 千	4 ア エ	ア エ 首	5 オ 合	オ 合	問三 <table border="1"><tr><td>ア 一 イ イ 東 ウ</td><td>ア イ ケ イ シ ょ う ウ</td></tr><tr><td>オ 千 エ 首 オ 合</td><td>れ い こ う エ き け ん オ し ょう も う</td></tr></table>	ア 一 イ イ 東 ウ	ア イ ケ イ シ ょ う ウ	オ 千 エ 首 オ 合	れ い こ う エ き け ん オ し ょう も う	問二 <table border="1"><tr><td>ア かい も く イ け い し ょ う ウ</td><td>ア 命 運 ウ 履 歴 書 エ 恒 例 オ 風 潮</td></tr></table>	ア かい も く イ け い し ょ う ウ	ア 命 運 ウ 履 歴 書 エ 恒 例 オ 風 潮	問一 <table border="1"><tr><td>ア 辞 任 イ 命 運 ウ 履 歴 書 エ 恒 例 オ 風 潮</td></tr></table>	ア 辞 任 イ 命 運 ウ 履 歴 書 エ 恒 例 オ 風 潮
こ	、	経	S																																																																																																																																																																			
と	社	済	D																																																																																																																																																																			
に	会	の	G																																																																																																																																																																			
つ	課	持	s																																																																																																																																																																			
な	題	続	g																																																																																																																																																																			
が	の	可	環																																																																																																																																																																			
る	解	能	境																																																																																																																																																																			
か	決	性	や																																																																																																																																																																			
ら	が	が	社																																																																																																																																																																			
.	企	重	会																																																																																																																																																																			
	業	要	の																																																																																																																																																																			
	の	だ	持																																																																																																																																																																			
	価	と	続																																																																																																																																																																			
	値	説	可																																																																																																																																																																			
	自	く	能																																																																																																																																																																			
	体	だ	性																																																																																																																																																																			
	を	け	と																																																																																																																																																																			
	高	で	同																																																																																																																																																																			
	め	な	等																																																																																																																																																																			
	る	く	に																																																																																																																																																																			
も	前	者																																																																																																																																																																				
の	は	は																																																																																																																																																																				
が	存	あ																																																																																																																																																																				
が	在	る																																																																																																																																																																				
が	す	事																																																																																																																																																																				
る	る	物																																																																																																																																																																				
か	と	の																																																																																																																																																																				
か	い	性																																																																																																																																																																				
ら	が	質																																																																																																																																																																				
.	企	を																																																																																																																																																																				
	業	指																																																																																																																																																																				
	の	す																																																																																																																																																																				
	だ	す																																																																																																																																																																				
	持	が																																																																																																																																																																				
	続	、																																																																																																																																																																				
	可	。																																																																																																																																																																				
	能	後																																																																																																																																																																				
	性	者																																																																																																																																																																				
	質	は																																																																																																																																																																				
	を	ある																																																																																																																																																																				
1 ウ	ア 一																																																																																																																																																																					
2 イ イ 東 ウ	イ イ ウ																																																																																																																																																																					
3 オ 千	イ エ 千																																																																																																																																																																					
4 ア エ	ア エ 首																																																																																																																																																																					
5 オ 合	オ 合																																																																																																																																																																					
ア 一 イ イ 東 ウ	ア イ ケ イ シ ょ う ウ																																																																																																																																																																					
オ 千 エ 首 オ 合	れ い こ う エ き け ん オ し ょう も う																																																																																																																																																																					
ア かい も く イ け い し ょ う ウ	ア 命 運 ウ 履 歴 書 エ 恒 例 オ 風 潮																																																																																																																																																																					
ア 辞 任 イ 命 運 ウ 履 歴 書 エ 恒 例 オ 風 潮																																																																																																																																																																						
問八 <input type="text" value="工"/>	問三 <input type="text" value="イ"/>	70字	問八 <input type="text" value="オ"/>	問三 <input type="text" value="イ"/>	問四 <table border="1"><tr><td>不 完 全</td><td>イ</td></tr></table>	不 完 全	イ																																																																																																																																																															
不 完 全	イ																																																																																																																																																																					
問九 <input type="text" value="イ"/>	問四 <input type="text" value="オ"/>		問九 <input type="text" value="不"/>	問五 <input type="text" value="ウ"/>	問五 <input type="text" value="イ"/>																																																																																																																																																																	
問十 <input type="text" value="ア"/>	問五 <input type="text" value="ア"/>		問十 <input type="text" value="ア"/>	問六 <input type="text" value="ア"/>	問六 <input type="text" value="ア"/>																																																																																																																																																																	
問十一 <input type="text" value="ア"/>	問六 <input type="text" value="ア"/>	40字																																																																																																																																																																				